

平成30年4月11日

羽村市へのパラシュート落下について

4月10日（火）午後5時頃、横田基地で訓練任務を行っていた米軍の降下隊員1名が、C-130J 航空機から降下中にメインパラシュートを切り離しました。メインとリザーブパラシュート共に展開したため、降下隊員はメインパラシュートを余儀なく切り離さなければなりませんでした。

基本安全手順によると、パラシュートが絡み生命の危機に陥ることを避けるため、降下隊員は、メインシュートを切り離さなければなりません。手順に従い、降下隊員は無事に横田基地に着陸しました。

リザーブパラシュートが展開した時に分離するよう設計されている、リザーブパラシュートの一部が、風に流され、羽村市の羽村第3中学校に落下しました。怪我人や被害はありませんでした。

幸いにも負傷者および物的損害は発生しませんでした。今件により、羽村市の地域の皆様にご心配をお掛けしたことを遺憾に存じます。

訓練は事象の調査結果が出るまで休止しました。調査により、エアクルーと降下隊員が定められた手順と安全手順に従っていたことがわかりました。さらに、安全確保の為、訓練休止中に部隊はすべてのパラシュートの検査を行いました。

パラシュート降下訓練の再開は4月12日（木）を予定しています。

第374空輸航空団は、日本の防衛の責務を支持すべく、安全な運用を行うことを約束します。

* 下記の日本語文書は参考のための仮翻訳で、正文は英文です